

Vol.107

Vol.107 (2026年夏号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM 事例・知識 … 3

Stakeholders / 法人スポンサー紹介 …… 12

PM Calendar / PM カレンダー …… 14

Fact Database / データベース …… 15

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆ PMI 日本支部 主催 PMI日本フォーラム2026 のご案内 3
- ◆ 川崎医療福祉大学におけるPM実践ワークショップ2026 結果報告 9
PMI日本支部 関西ブランチ プロジェクトマネジメント実践研究会
橋本 欽司、勝連 城二、松下 貴司、山本 智子、草地 美恵子

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

- 株式会社 MSOL Digital 12

PM Calendar / PM カレンダー 14

- PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース 15

PMI 日本支部ニュースレター Vol.107 2026年6月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階
E-mail：info@pmi-japan.org
ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

◆ 商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence/ PM事例・知識

PMI日本支部 主催 PMI日本フォーラム2026のご案内



PMI日本フォーラム2026

『持続価値を生むリーダーシップ』～ Value-Sustaining Leadership ～

2026年 7月11日(土)～8月31日(月)

会場開催 7月11日(土)

リアルタイム配信 7月11日、12日

オンデマンド配信 8月31日まで

公式サイト <https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/15601>

2026年7月11日～8月31日にわたり、『『持続価値を生むリーダーシップ』～ Value-Sustaining Leadership ～』をテーマに「PMI日本フォーラム2026」を開催いたします。

私たちは今、AIの進展、脱炭素化、地政学的変動、人口動態の変化など、かつてない複雑で不確実な環境の中にあります。こうした時代において、プロジェクトマネジメントに求められる役割も、単なる計画達成や成果創出にとどまらず、社会・経済・人材・環境に対して長期的な価値を創り続けることへと広がっています。

PMIが提唱するValue Realizationやサステナブル・トランスフォーメーションは、こうした変化の本質を捉え、プロジェクトを通じて価値を実現し続けるための新たな視座を示しています。本フォーラムでは、その中核を担う「リーダーシップ」に焦点を当て、多様な実践知と対話を通じて、これからのプロジェクト・マネジャー像を共に探求してまいります。

正解のない時代だからこそ、変化に対応するだけでなく、変化を機会へと転換し、持続可能な未来を導くリーダーシップが重要です。倫理観、包摂性、共創力を備えたリーダーの役割は、これまで以上に高まっています。

本フォーラムが、参加される皆さまにとって、新たな視点と実践への示唆を得る場となり、未来に向けた価値創造の一步となることを願っております。

ご登壇いただく講演者の皆さま、ご支援いただくスポンサーの皆さま、そして準備・運営に尽力いただく会員ボランティアの皆さまに心より感謝申し上げます。

PMI日本フォーラムが、持続可能な未来に向けた学びと共創の場となることを確信し、皆さまとともに新たなリーダーシップのあり方を考える機会を共有できることを期待しております。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI日本フォーラム2026のご案内

PMI日本フォーラム2026

『持続価値を生むリーダーシップ』

～ Value-Sustaining Leadership ～

開催形式 オンライン配信（リアルタイム、オンデマンド）、一部会場開催

会場所在地 アキバプラザ
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトアキバプラザ
アクセス：<https://www.fsi.co.jp/akibaplaza/map.html>

日時と内容

▼基調・招待講演（12講演）
○会場開催 7月11日（土）
講演終了後に同じ会場内で交流会（18:15-20:00）を開催します。
交流会は立食のビュッフェパーティ形式です。
○リアルタイム配信 7月11日（土）、12日（日）
○オンデマンド配信 7月13日（月）～8月31日（日）

▼研究報告講演〈部会・法人スタディー・グループ〉（50講演）
研究報告講演〈スポンサー〉（10講演）
オンデマンド配信 7月13日（月）～8月31日（月）

▼アカデミック講演（8講演）
オンデマンド配信 7月13日（月）～8月31日（月）

参加費

チケット種類	定員	参加者区分（単位：円 税込み）				
		一般	法人 スポンサー 企業社員	日本支部会員	退職者会員 （注1）	部会活動 アクティブ メンバー （注2）
① 7月11日（土）会場参加＋交流会参加 ② のオンライン配信を含む	140	32,000	26,000	22,000	21,000	17,000
② 7月13日（月）～8月31日（月）オンライン配信	なし	30,000	24,000	20,000	19,000	15,000

（注1）「退職者会員」としてチケットを購入いただくには、PMI本部サイトでのMembershipの項目が「退職者会員＝Retiree」になっている必要があります。PMIに5年連続でIndividual会員となっている方が正式退職後にPMI本部にリクエスト（カスタマーケア経由で依頼）し、審査の結果、条件をみたしていた場合に「Retiree」に変更されます。

<https://www.pmi.org/membership/faq>

（注2）「部会活動アクティブ・メンバー」とは、PMI日本支部の部会、法人スポンサースタディー・グループ、コミュニティから事務局に提出いただいた「アクティブ・メンバー」リストに掲載されている支部会員の方が対象となります。

まだ、日本支部会員でない方は、是非この機会に日本支部会員にご加入の上、参加ください。

お問合せ先 forum2026admin@pmi-japan.ne

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

■ PMI 日本フォーラム2026 のご案内

■ プログラム構成

リアルタイム配信 * 配信後はオンデマンドでも聴講できます						
講演区分	配信日	講演番号	講演時刻	講演タイトル	講演者	所属組織
基調		(M-01)	09:55～10:00	開催挨拶	浦田 有佳里	PMI日本支部 会長
		M-01	10:00～11:00	From Strategy to Impact: Global Trends Shaping the Future of Project Success	Teresa A. Knudson	PMI ガバナンス委員会 委員長
招待	7月11日 (土) 会場とリモートのハイブリッド配信	M-02	11:15～12:15	全府省庁の約18万人の政府職員を対象としたガバメントAI (源内) の大規模実証について	大杉 直也	デジタル庁 AI実装総括班 ガバメントAIリードエンジニア
		申込者のみ	12:25-13:05	(ランチミーティング) チームで価値を早く届けるには～パリューストリームの最適化で、自動化・AI実装の価値を加速～	最上 千佳子	株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック 取締役
		M-03	13:15～14:15	プロジェクトを終わらせない—— AI時代に持続価値を生むリーダーシップ	諏訪 光洋	株式会社ロフトワーク 代表取締役社長
		M-04	14:30～15:30	孤独なき「個の時代」の生存戦略——自己変態理論——	與良 だいち	株式会社チャクラグラス 代表取締役
		M-05	15:45～16:45	持続価値は設計できるか——感謝が循環する経営の構造	新井 和宏	非営利株式会社 eumo 代表取締役
		M-06	17:00～18:00	3000Hzの声から学ぶ「世界を笑顔に」する共感コミュニケーション	山崎 小夜子	「オペラ歌手が歌う令和の酒造り唄」をキャッチフレーズにジャンルを超えた活動を展開する歌手
		申込者のみ	18:15～20:00 (予定)	会場にて交流会 (会場参加申込者のみ)		
招待	7月12日 (日) リモート配信	M-07	10:00～11:00	データサイエンス・AI活用による価値創出——実践知から導く成功方程式	深谷 良治	滋賀大学 データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター 特任教授
		M-08	11:15～12:15	標準と経験に基づくプロジェクトからモデルベースのプロジェクトへ：戦略、能力、計画の連携	Dr. Bryan Moser	マサチューセッツ工科大学 (MIT) Academic Director, System Design and Management Program
		M-09	13:15～14:15	経営人事AIプロフェッショナルによる組織変革の必要性	吉田 洋介	株式会社Truststyle代表取締役/ 「人事図書館」館長 同左
		M-10	14:30～15:30	価値を高め唯一無二の企業へ	鈴木 美樹子	株式会社オカモトヤ 代表取締役
		M-11	15:45～16:45	企業の成功に不可欠な「攻め」のAIガバナンス	羽深 宏樹	スマートガバナンス株式会社 代表取締役CEO 京都大学大学院法学研究科 特任教授 AIガバナンス協会 代表理事 日本・ニューヨーク州弁護士
		M-12	17:00～18:00	「阿吽の呼吸」を超えて——多文化とAIが拓くValue-Sustaining Leadership～	田村 拓	一般社団法人 EDAS 理事長

オンデマンド配信 研究報告 (部会、法人スポンサーSG)、フォーラムスポンサー、アカデミック						
講演区分	配信日	講演番号	PMI日本支部での所属部会	講演タイトル	講演者	所属組織
研究報告	7月13日(月)～8月31日(月) オンデマンド配信	G-01	アジャイル研究会	2026年度アジャイルプロジェクトマネジメント意識調査報告	成田 和弘	—
		G-02		両利きの経営とプロジェクトを実現するMCP：アジャイル研究の過去現在未来	井芹 薫 中村 正伸 齊藤 毅 中島 洋行	ポッシュ株式会社 新規事業開発部マネージャー 香川大学 ビジネススクール教授 中京大学 経営学部准教授 明星大学 経営学部准教授
		G-03		持続的価値を生むPMの次世代戦略：LLMの「罨」を見極め、問題兆候を自動検知する実践アプローチ	三五 大輔 佐野 公則	— —
		G-04		Co-Intelligence時代のPM進化論～ツールから、共に考えるパートナーへ～	武上 弥尋	日本アイ・ビー・エム株式会社 Certified Executive Project Manager
		G-05	AI@Work	AIエージェントの最前線 2026～理論と実践で解き明かすAIの限界と、PMIによる「共創化」の実装～	川田 米太郎 内藤 睦博	アバナード株式会社 マネージャー 株式会社ソシオネクストシニアエンジニア
		G-06		PMBOK® ガイド第8版から読み解く！AI共生時代のプロジェクトマネージャーのワークスタイル	小野寺 信	NTTドコモビジネス株式会社
		G-07		PMのためのAIを実構築した経験の共有	今井 景子 栗野 哲兵	— —
		G-08		PMI×AIが拓くプロジェクトマネジメントの未来——グローバルの最新動向と実践から学ぶ価値創出——	Kathleen Walch	Project Management Institute Director, AI Engagement and Community
					武上 弥尋	日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Expert Labs - Delivery Excellence, Certified Executive Project Manager

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■ PMI日本フォーラム2026のご案内

研究報告	7月13日(月) ～8月31日(月) オンデマンド 配信	G-10		AI時代に大事なキャリアオーナーシップと人的資本経営 ～企業価値向上とキャリア自律を両立するプロティアン キャリアとアジャイル型プロジェクトマネジメント～	稲葉 涼太	TIS株式会社 エキスパート 一般社団法人PMI日本支部 理事 一般社団法人IIBA日本支部 理事
		G-11	SDGsスタート アップ 研究会	「ブームとしてのSDGs」から経営テーマとしての サステナビリティへ ～サステナビリティ推進が止まる理由と SDGsスタートアップ方法論～	稲葉 涼太	TIS株式会社 エキスパート 一般社団法人PMI日本支部 理事 一般社団法人IIBA日本支部 理事
		G-12		プロジェクトが企業のサステナビリティ経営の鍵を握る ～GPM P5標準で実現するサステナブル・プロジェクト マネジメント～	大前 良太	—
		G-13		制約下でも成果を出すレジリエンスの磨き方 ～4児の母が歩んだ非線形キャリアから学ぶVUCA時代の 適応力～	田中 理恵子	株式会社リコー エキスパート
		G-14		関西ブランチ IT上流工程 研究会	次世代PMへの進化：ビジネスとプロジェクトを繋ぐ エンタープライズアーキテクチャ (EA) による ビジネス変革マネジメントの実践	松井 淳 塩田 宏治
		G-15	関西ブランチ 医療プロジェクト マネジメント 研究会	QOL as a Product — 医療・介護領域における人間中心 プロダクトマネジメントのモデリングによるアプローチ	山口 雅和	個人事業主 日々創発 代表
		G-16	関西ブランチ 定量的PM事例 研究会	AI×PM for Purpose ～がんサバイバーの起業に伴走して 「想い」を持続可能な価値に変える～	岡田 知之	日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Consulting Manager
		G-17	関西ブランチ PM創生研究会	15周年の軌跡が照らす未来——PM創生研究会が 探求する「持続価値を生むリーダーシップ」の源泉	藤本 博志	フリーランス
		G-18	関西ブランチ プロジェクト マネジメント 実践研究会	学生向けPM教育プログラムの開発 —問題解決型PM実践ワークショップを用いて—	橋本 欽司	—
					山本 智子	川崎医療福祉大学 非常勤講師
		G-19		ショートケース開発の共修サイクル - Agentic AI × HITLの実践	田中 伸代	川崎医療福祉大学 医療コミュニケーション学科 教授
		G-20		生成AIで行政に持続価値を生む！ ～自治体における生成AI活用事例と、 プロジェクトマネジメントの価値提案～	大西 徹	ナレッジナッジ合同会社 代表
		G-22	行政 コミュニティ	行政現場の強い味方！行政プロジェクトを救う2つの ツール	渡辺 恵士朗	行政コミュニティ 副代表・コミュニティ運営WGリーダー
					錦戸 優輝	株式会社グローバル・パートナーズ・ テクノロジーシニアコンサルタント
					服部 美穂	総合コンサルティングファーム (公共向けサービス担当) 執行役員
		G-23		甦れ、三宜楼 ～歴史的建造物「三宜楼」改修事業に学ぶ 行政プロジェクトマネジメントの実践ポイント～	西藤 憲二	—
					山田 立人	フォアグローブ株式会社 DXユニット ユニットリーダー
					大前 良太	—
		G-24	建設 コミュニティ	『前日の決断』から『宇宙戦略』へ： PMI-CPと段階的抽象化の実装	木戸 達夫	—
		G-25	シニア コミュニティ	持続価値を生むリーダーシップ —シニアコミュニティの実践	熊川 健三	北九州市役所 都市戦略局計画部開発指導課 主査
					大前 良太	—
					下池 季樹	株式会社アジア共同設計コンサルタント 部長
		G-26		ソーシャル・キャピタル醸成に向けて ～日本にアップスウィングはあるか～	大久保 剛	Your Life Consulting 代表者
					鈴木 隆明	アルファプラス 代表/ビジネスアーキ テクト
					猪口 政一	オムロンデジタル(株)
					大島 康宏	Itbase 代表
		G-27	女性 コミュニティ	制度は整った、ではキャリアは？ ～女性PMのアサイン・昇進を阻む見えない壁～	高橋 正憲	P Mプロ有限公司 代表取締役
					野尻 一紀	キンドリルジャパン・テクノロジーサー ビス 株式会社 プロジェクト・マネージャー
					鬼塚 祐代	—
G-28	女性 コミュニティ	女性のウェルビーイングが男性を救う？！	大久保 剛	Your Life Consulting 代表		
G-29	ステーク ホルダー・ エンゲー ジメント研究会	承認欲求を理解したこれからのリーダーシップとは —アンケート結果に基づく人が動く組織作りの 実践例—	小川原 陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社 アソシエイトパートナー		
			浦田 有佳里	国立開発研究法人情報通信研究機構 参事		
			石鍋 和佳子	ランスタッド株式会社 シニアプロジェクトリード		
			久保 杏子	株式会社日立社会情報サービス 技師		
			山本 富志江	アクセンチュア株式会社 Custom Software Engineering Assoc Mgr		
			河南 美章	株式会社ミナミ 代表取締役		

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI日本フォーラム2026のご案内

研究報告 7月13日(月) ～8月31日(月) オンデマンド 配信	G-30	ソーシャル PM研究会	ソーシャルPM活動15周年の節目に語る 「想い」と「実践」: 軌跡と資産から描く共創の未来	野尻 一紀	キンドリルジャパン・テクノロジーサービス 株式会社 プロジェクトマネージャー
				鬼塚 祐代	—
				河合 慎一郎	KDDI(株)
				浅山 敦史	(株)東芝 エキスパート
	G-31	組織的プロジェ クトマネジメン ト研究会	Value-Sustaining Leadershipを実現する 組織的ナレッジマネジメント	池田 修一	株式会社ポジティブ・ラーニング 代表
	G-32	DA コミュニティ	正解のない現場を動かす「知恵の逆引き辞典」 ～Disciplined Agile (DA)	下田 隼	株式会社プロジェクトカンパニー
	G-33	はじめての プロジェクト マネジメント 研究会	ゲームで遊んで学ぶプロジェクトマネジメント! ～持続価値を生むPM普及活動～	渡辺 恵士朗	株式会社グローバル・パートナーズ・ テクノロジー 公共公益ユニット長 /札幌支店長/シニアマネージャー
				大森 祥史	フィルメック株式会社 主事
				内田 和秀	株式会社ABEJA System Developer
	G-34	PMO研究会	価値創出型PMOを目指して ～あなたのPMOを進化させる5つの取り組み～	西原 真仁	PMI日本支部 PMO研究会 代表
	G-36	PMタレント コンピテンシー 研究会	AI Transformationでバックヤードは消滅する? ～乗り越えるコンピテンシーとは何か?～	神庭 弘年	神庭PM研究所 所長
	G-37	PMツール 研究会	価値創造を志向したシステム受入評価モデルの提案 — ISO/IEC 25010利用時品質と ユーザーセグメント別重み付けの適用 —	高橋 淳	株式会社システムコンサルタント
	G-38	ビジネス アナリシス 研究会	プロジェクト課題にビジネスアナリシス 実務ガイドを活用しよう! AI時代に求められるビジネスアナリシスの 役割・在り方	山内 健司	株式会社プテロン・コンサルティング マネージャー
	G-39			谷 徹也	損害保険ジャパン株式会社 グループリーダー
	G-40	標準推進 委員会	PMBOK®ガイド第8版が導く 変革の羅針盤: AI時代に求められる「見識」と学びの再定義 「PMBOK®ガイド第8版 The Review — 戦略的価値創造 者への転換」価値実現・M.O.R.E.が変える プロジェクト成功の定義	金子 啓一郎	Project People Performance研究所 代表
	G-41			中谷 公巳	アクシスインターナショナル株式会社 代表取締役
	G-42	PMBOK® セミナー プログラム	プロジェクトマネジメント研修はどうあるべきか～ PMBOK®ガイド第8版時代におけるプロセスと 原理原則の「守破離」～ なぜPMBOK®ガイド第7版は「いい話」で終わって しまうのか～第8版時代に「教養」を「武器」へ 変えるための、現場実践への処方箋～	藤田 廣昭	—
	G-43			木村 俊文	株式会社マネジメントソリューションズ プロジェクトマネジメント コンサルタント
	G-44	プロジェクトマ ネジメント研究会	スチュワードシップ～通奏低音のような存在感～	小川 秀子	PCIソリューションズ株式会社 人財開発部 部長
	G-45	ポート フォリオ/ プログラム 研究会	「組織は何を目指すべきか ～ミンツバグとサーバ ントリーダーシップから考える未来の マネジメント～と、AIエージェント」 製造業DXにおけるプロジェクト干渉の構造 ～工場在場の情シスが語る縦割り組織での PPPM活用への挑戦～ プロジェクト・マネージャーの先へ: 正論ではなく「自分の名前で決める」 ～評論家で終わらないための思考転換～ PPPMで磨く戦略と整合した価値起点のプロジェクト 目標設定 ～PPPM視点で価値を明確にしブレない 目標を設定するPMの実践知～ プログラム・ポートフォリオマネジメント標準の教え を実務に活かす ～「当たり前のこと」が難しい。 シニアPMが奮闘の末に乗り越えた「壁」～	山口 健	—
	G-46			志村 陽平	—
	G-47			新田 晃大	—
	G-48			尾崎 能久	—
	G-49			翠川 賢太郎	キャノン株式会社 シニアプロジェクトマネージャー
	G-50	ミドルキャリア 研究会	キャリアを語り考えられる場が なぜPMI日本支部に必要か —ミドルPMのキャリア自律と日本の未来	稲葉 涼太	TIS株式会社 エキスパート
				谷口 和行	ニッセイ情報テクノロジー株式会社 チームマネージャー
				井口 智香	株式会社コネクティ Webディレクター
				宮澤 優貴	—
	G-51	リスク・ マネジメント 研究会	生成AIを活用したリスクマネジメント ～セミナー事例に基づく実践的アプローチ～	村山 正宗	東芝自動機器システムサービス(株) 主務
				弘末 太郎	INTLOOP Project Management株式会社 マネージャー
	G-52	法人スポンサー・ ケースメソッド スタディ・ グループ	正解のない意思決定をどう鍛えるか —はじめてのケースメソッド実践～生成AIで実現する、 3分から始める新アプローチ～	牛山 主計	日本ビジネスシステムズ株式会社 シニアエキスパート
	G-53	法人スポン サー・人材育成 スタディ・ グループ	プロジェクト・マネージャーに必要な「人間力」	久保 めぐみ	DXCテクノロジー・ジャパン株式会社 HRBP
				佐藤 真里奈	INTLOOP Project Management株式会社 マネージャー

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■ PMI日本フォーラム2026のご案内

スポンサー講演	7月13日(月) ～8月31日(月) オンデマンド 配信	フォーラム・ スポンサー	S-01	価値実現重視へとシフトした時代を生き抜くには	渡会 健	株式会社SHIFT アジャイルエバンジェリスト
			S-02	影響力の法則*を活用したステークホルダー マネジメント～概念的に考えて具体的に行動する	鈴木 道代	株式会社プロジェクトマネジメント オフィス 取締役
			S-03	理論と実践をつなげるプロジェクトマネジメント	岡田 暁彦	株式会社エル・ティ・エス シニアコンサルタント
			S-04	「喜び」が循環する現場を目指して： 標準化とAI共生で挑むPMO主導の組織変革 ～管理の「負担」を「価値」に変える、 持続可能なリーダーシップの実践～	吉宮 圭輔	株式会社アイ・ティ・イノベーション コンサルタント
			S-05	指示するリーダーから「場」を創るリーダーへ ～成果を出し続ける組織のリーダーは 何を变えたのか?～	能勢 大輔	株式会社MSOL Digital アカウントマネージャー
					谷川 光一	株式会社MSOL Digital マネージャー
			S-06	AI時代におけるPM教育 ～ PM知識教育と非認知教育の実践～	小林 パウラ 愛里	株式会社MSOL Digital
					横地 真吾	株式会社マネジメントソリューションズ 品質横断グループディレクター、 元トレーニング事業部事業部長
			S-07	感情論を排した組織構造化マネジメント —入社後90日の離職を「仕組み」で防ぐプロジェク ト手法—	佐藤 美穂	株式会社マネジメントソリューションズ 品質横断グループ、 元トレーニング事業部
			S-08	自走するチームをプロデュースしよう ～疲弊しない/させない、次世代PM像の提言～	四戸 美穂	リミー 代表
S-09	PMISは「使うもの」から「一緒に働くパートナー」へ : AIエージェント×PM実務の現在地	小林 稔央	株式会社アジャイルウェア テクニカルセールス			
S-10	なぜプロジェクトの変更対応は止まらないのか? ～修正が常態化したプロジェクトの事例と再設計～	大西 徹	ナレッジナッジ合同会社 代表			
アカデミック	7月13日(月) ～8月31日(月) オンデマンド 配信	教育国際化 委員会	A-01	ストレッチャブルエレクトロニクスの分野横断・国際 研究	梶田 和磨	日本プロジェクトソリューションズ プログラムチーフデザイナー、 リードファシリテーター、 プロジェクトマネジメントコンサルタント
			A-02	未来のプロジェクトリーダーは教室では育たない — STEM Racingが示す次世代PBL	松久 直司	東京大学先端科学技術研究センター 准教授
			A-03	PBLとプロジェクトマネジメント教育が生んだ 国際コンペ優勝の軌跡	水野 順子	一般社団法人STEM Academy 代表理事
					PHAM Tam Long	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 助教
			A-04	PM教育におけるPBLの限界を補完するナラティブ アプローチ - Project Kids Adventure活用事例の紹介	伊藤 衛	立命館アジア太平洋大学、 京都工芸繊維大学、慶応義塾大学、 小山工専 非常勤講師
			A-05	生成AIアプリ開発力を基盤としたプロジェクトマネジ メント人材開発の再設計～パイプコーディングによる プロトタイプ開発能力育成の必然性と戦略的意義～	大島 直樹	国立大学法人 山口大学大学院 技術経営研究科 教授
			A-06	中学校におけるプロジェクトマネジメント実践報告	小川 賢一郎	芝浦工業大学附属中学高等学校 教諭 (物理)
			A-07	ロボット開発を核とした社会実装型STEAM教育モデル の構築と実践	朝川 真行	岡山中学校・岡山高等学校 中学1年学年主任
A-08	学校と社会の境界を越境する学びのデザイン —ゼロから生み出す産学連携プロジェクトに見る「持 続価値」のつくり方—	高橋 伸明	新渡戸文化中学校・高等学校 教諭			
A-07	「Software 2.0」実装におけるアジャイルと計画駆動 PM方法論 教育の実践：テスラ社の自動運転技術ケーススタディ と社会実装に向けた学生の考察	今仁 武臣	日本経済大学大学院 経営学研究所 教授			
		森本 千佳子	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 准教授			
		竹原 信也	奈良工業高等専門学校 一般教科 准教授			
A-08	帰属意識はいかに学習コミットメントを高めるのか - 全寮制環境における実証分析 -	中島 敏	群馬工業高等専門学校 物質工学科 准教授			
A-08	Engineering Ethicsの可能性をひらく — 企業文化・組織・働き方への接続の試み —					
A-08	群馬高専におけるアントレプレナーシップ教育の概要 と学内アイデアコンテストの成果報告					

G-35、G-05講演中止

上記の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

川崎医療福祉大学における PM実践ワークショップ2026 結果報告

PMI日本支部 関西ブランチ プロジェクトマネジメント実践研究会
橋本 欽司、勝連 城二、松下 貴司、山本 智子、草地 美恵子



PMI日本支部 関西ブランチ「あかね実践工房」
テーマ：「プロジェクト立ち上げ（企画）の実践」
～社会人になって役立つ業務改善

プロジェクトマネジメント実践研究会「あかね実践工房」では、幅広い世代でのプロジェクトマネジメント普及・実践を願い、その一環として学生向けプロジェクトマネジメント教育プログラムを実施しています。今回、昨年に引き続き川崎医療福祉大学の学生向けに「PM実践ワークショップ」を行いましたので、その内容をご報告します。

1. ワークショップ概要

- 日時：2026年4月11日(土)13:00～16:30
- 場所：川崎医療福祉大学（岡山県倉敷市）
- 参加者：4年次の学生12名
(3年次でプロジェクトマネジメントを学習済)

□テーマ：「社会に出て役立つ業務改善」のプロジェクト提案書作成

□内容：

「プロジェクトの立ち上げ」にフォーカスしたプログラム実施。具体的には、病院の待合室や受付、入院病棟の廊下など複数の写真を見てその中から課題を抽出。個人検討とチーム検討を織り交ぜた改善策検討を行い、チームごとに改善提案書（目標、ステークホルダー、リスク、スケジュール）を作成し発表する、というプロジェクトの立ち上げ（企画）までを織り込んだワークショップを実施しました。

2. ワークショップ開催の準備

好評だった昨年の内容を引継ぎ、教材（病院内の写真）はAIを活用（昨年度より採用）し改めて作成しました。意図する課題を含んだ写真はとても自然で、参加した学生からも、「実際に病院実習でも見かけたシーンで全く違和感がなくわ

Best Practice and Competence/PM事例・知識

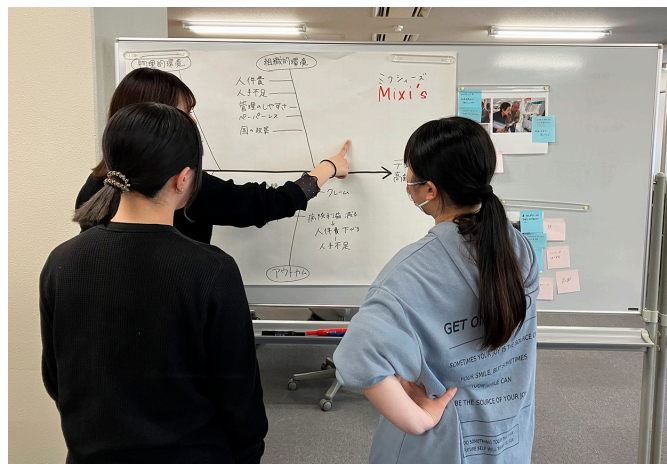
■川崎医療福祉大学におけるPM実践ワークショップ2026 結果報告

かりやすい」と大変好評でした。病院内の撮影はプライバシー問題などもあり困難を伴うため、画像自動生成の有効性を改めて認識しました。一方、課題分析手法に用いた「特性要因図（フィッシュボーン図）」については、知識として学んでいたものの実践経験がなく戸惑う様子も見られました。今後この手法を用いる場合は事前学習の準備や解説例を増やすなどの検討ができればと思います。

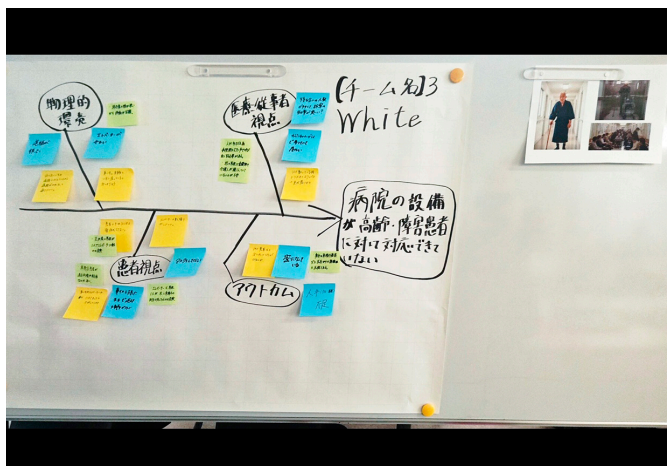
から社会に出たのちも、その視点を持ち続けてほしいと強く思いました。



橋本代表による説明



チーム検討の風景



特性要因図（フィッシュボーン図）



発表風景

3. チーム検討

当初予定より参加人数が減ったため、急きょ各チームの人数を減らした形でのワークとなり心配もありましたが、結果的には全員が積極的に参加し、休憩時間を惜しみ議論する場面も見られるなど、とても活発なチーム検討となりました。4年次生ということで顔見知りが多く心理的安全性が高かったことも良かったのではと思います。教材写真からの課題抽出では「病院実習で確かにこういう場面があった!!」などこれまでの実経験と照らし考えている様子が見受けられ、これ

4. 学生アンケート結果サマリ

- 参加前から多くの学生がプロジェクトマネジメント（PM）に対し前向きな関心を持っており、参加後はさらにその意識向上が確認出来ました。

〈プロジェクトマネジメントを学ぶ意識〉

参加前…とても学びたい（18%）、学びたい（82%）

参加後…とても学びたい（45%）、学びたい（55%）

〈PM実践家によるワークショップへの参加〉

参加前…とても参加したい（9%）、参加したい（91%）

参加後…とても参加したい（27%）、参加したい（64%）、参加したくない（9%）

- 本プログラムは「就職活動や将来の業務に活かせる」という声が多く見受けられました。

…とても活かそう（64%）、活かそう（36%）

Best Practice and Competence/PM事例・知識**■川崎医療福祉大学におけるPM実践ワークショップ2026 結果報告**

- ワークショップ全体の高い満足度を得られた…とても満足（82%）、満足（18%）
- PM実践研究会スタッフの態度・進行は「丁寧」「わかりやすい」と高評価でした。適切な助言により、学生の主体的思考を引き出した点が評価されたと思われます。
〈態度〉…とても良かった（91%）、良かった（9%）
〈進行〉…とても良かった（73%）、良かった（27%）
- 実例を通じて既修のPM知識を、深化できたという評価も見られました。
- 特性要因図（フィッシュボーン図）は問題の構造化・可視化に役立つと評価されたものの、一部からは難しさの指摘もありました。

5. まとめ

アンケート結果は概ね好意的で、特に、ワークショップ実施前後でプロジェクトマネジメントへの意識やワークショップへの参加意欲が高まっていたのは、とても嬉しく今後の運営の励みとなりました。

また今回PM実践研究会スタッフが各チームに伴走し、答えを与えず適切な助言を加えながらワークショップを進められたことが、既知のPM知識深化や今後の活動実践イメージにつながり、高い満足度を得られたと感じました。これからも関西ブランチPM実践ワークショップを通し、幅広い世代がプロジェクトマネジメントへの興味関心を持ち、実践につながってもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

株式会社 MSOL Digital



■ デジタル∞マネジメントの変革力で未来をつくる

MSOL Digitalは、MSOLグループが長年培ってきた最先端のプロジェクトマネジメントDNAを基盤とし、PMI (Project Management Institute) のグローバルスタンダードに準拠し、また卓越した実行力をもって、企業のDX推進、システム変革、アジャイル実践をトータルで支援するデジタルコンサルティング企業です。単なるITツールの導入にとどまらず、PMBOK® (プロジェクトマネジメント知識体系) に基づく高度な管理手法と最先端のデジタル技術をシームレスに融合させることで、複雑化するデジタル変革のリスクを最小限に抑え、確実な企業変革の実現まで一気通貫で伴走します。

コアサービス

① AIエージェントMill

AIのヒアリングで「暗黙知」を抽出し、見えない負債を「資産」へ再生。

「担当者しかわからない」システムのブラックボックス化を根本解決します。コード解析だけでなく、AIがエンジニアへ能動的にヒアリングを実行。影響調査の数秒完了や最新仕様書の自動生成により、属人化を排除し、保守・運用の生産性向上とスムーズなモダナイズを実現します。

② ローコード/ノーコード活用支援

現場のアイデアを素早く形にし、「市民開発」を組織に根付かせる。

Microsoft 365 と Power Platform を活用。

特定の課題を迅速に解決する「テンプレート支援」と、ガバナンス構築や開発伴走による「内製化推進」の2軸で、自由と統制のバランスを取りながら内製化の価値を最大化します。

③ TechPMO

管理側と技術側の「情報の乖離」を解消し、複雑な開発現場を成功へ。

アーキテクト 視点を持つエキスパートが、PMやテックリードの右腕として伴走。

現場のリアルな状況を構造的に可視化して的確な意思決定を支援し、構想策定から炎上案件の交通整理まで、MSOLのPMO知見と高度な技術力で幅広く対応します。

④ HRX Consulting

なぜ日本のDXは「成果」に繋がらないのでしょうか。戦略から実行まで、真の変革を担う「DX人財創出」を伴走支援いたします。

支援するのは「現役の人事」です。だから、組織の動かし方が根本から違います。

今まさに現場で通用する「人事のリアリティ」でご支援します。

コンサルの枠を超え、成果が出るまで泥臭く伴走いたします。

⑤ ビジネス アジャイル®

日本型経営の良さとアジャイルを融合し、現場主導で変化に強い組織を作ります。

- 徹底した業務の可視化で「属人化」を解消
- 導入1年半で年間4,700件の改善を生む圧倒的実績
- 有資格者のプロが現場に入り込み「自走化」まで伴走

⑥ AI×システムマイグレーション

AI解析とマネジメント力で、ブラックボックス化したシステムの刷新を推進します。

生成AIの圧倒的な解析スピードで、ブラックボックス化したシステムを可視化。

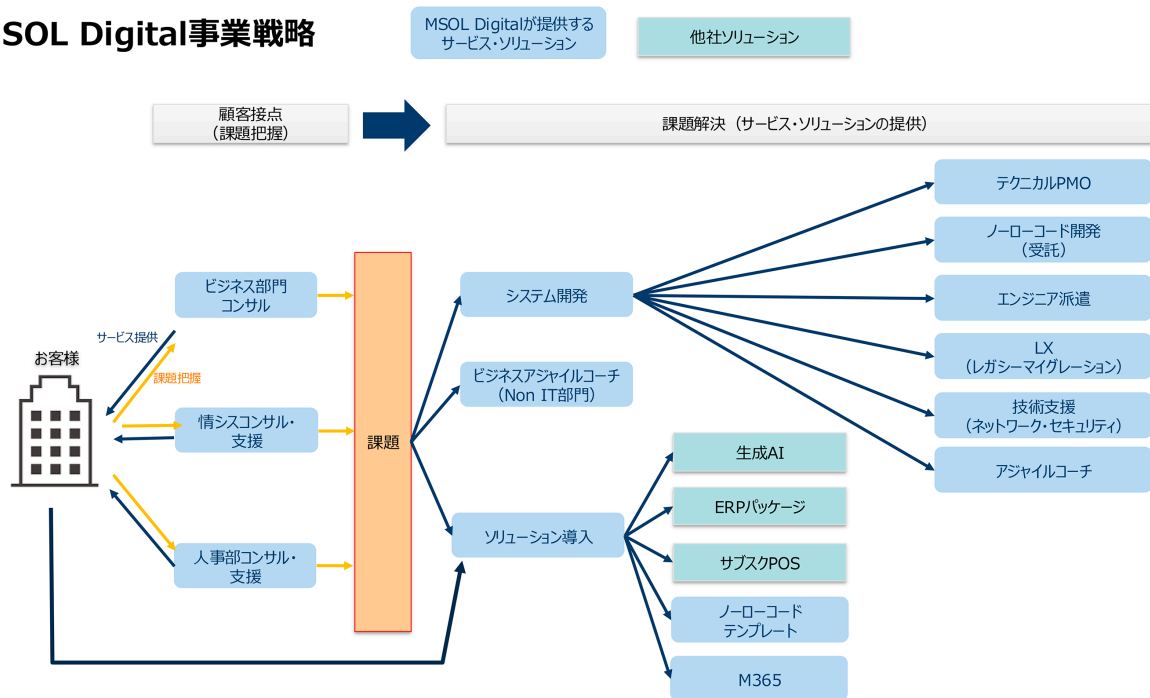
豊富なPMO実績に基づくランドデザインから、最適な専門ベンダーを統制したシステム刷新まで、

リスクをコントロールしてプロジェクトを成功へ導きます。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社 MSOL Digital

MSOL Digital事業戦略



■事業戦略導入実績の代表例

従来の単純な事例列挙から、プロジェクトの「背景・課題」「具体的な支援内容・ブレイクダウン」「創出した成果」の3軸で詳細化し、実行力を証明する実績構成へと刷新しました。

プロジェクト名	具体的な支援内容・ブレイクダウン	創出した成果 (定量・定性)
① ERP刷新プロジェクトの推進支援	<ul style="list-style-type: none"> 既存ERPの業務プロセス (Fit & Gap) の可視化 モダンAPI層を活用した段階的なクラウド移行ロードマップの策定 マルチベンダー間の利害調整、および基幹DB統合プロセスのマネジメント支援 	<ul style="list-style-type: none"> システム移行に伴う業務停止リスクをゼロに抑制 次世代クラウドへの完全移行により、インフラ維持コストを大幅削減
② ワークスタイル変革プロジェクト支援	<ul style="list-style-type: none"> 本社オフィスとリモート環境 (多拠点・多班構成) のハイブリッドワークセキュリティガイドライン策定 コミュニケーションツール選定から定着化までのチェンジマネジメント実行支援 	<ul style="list-style-type: none"> 本社オフィス・リモート班AB間の業務シームレス化を実現 全社導入後のツールアクティブユーザー率95%以上を達成
③ DX人材育成プログラム構築	<ul style="list-style-type: none"> 【ステップ01：意識改革】 役員・管理職向けのマインドセット研修、DX必要性の全社浸透 【ステップ02：技術実行】 実務に直結するローコード/データ分析のスキル習得カリキュラムの実装・メンタリング 	<ul style="list-style-type: none"> 受講者のスキル習得度 (独自のアセスメント指標) が平均で85%以上向上 内製化チームが社内ですべての体制の礎を構築
④ AIを活用した業務自動化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 定型・手動業務 (マニュアル作業) のスクリーニングと自動化適正評価 独自AIエンジンを組み込んだ自動化ワークフローの要件定義、検証 (PoC) から本番実装までのマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間365日の稼働体制 (完全自動化) を構築 対象プロセスの運用コストを60%削減することに成功
⑤ データドリブン経営基盤構築支援	<ul style="list-style-type: none"> 各部門に散在するデータの抽出・クレンジングと経営管理データモデルの設計 BI分析・集計エンジンの導入、および経営ダッシュボード (KPIモニタリング層) の構築支援 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指標 (KPI) のリアルタイム可視化を実現 月次レポート作成時間を削減し、迅速な経営意思決定を可能に
⑥ DX可視化およびロードマップ策定支援	<ul style="list-style-type: none"> 【フェーズ1】 現状のシステム資産およびレガシー構造の徹底的な可視化・リスク診断 【フェーズ2】 中長期的なシステム刷新を見据えた「業務アーキテクチャのモダナイゼーション」ロードマップの策定 	<ul style="list-style-type: none"> 経営陣と現場で共有可能な、ブレのない5カ年DX投資ロードマップを確立 レガシー脱却に向けた技術的負債の削減計画を明確化

株式会社 MSOL Digital 企業情報

株式会社 MSOL Digital
(エムソルデジタル)

本社所在地 〒107-6229 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
ウェブサイト <https://www.msoldigi.com/>

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー/ワークショップ

● 転ばぬ先の杖、現場で使うためのリスク・マネジメント

- 日時：6月27日(土)10:00～17:30
- 形式：会場開催
- 6PDU

● 関西ブランチ主催 PMI × IIBA × SVL コラボイベント

- 日時：7月25日(土)13:30～16:30
- 形式：現地開催/リアルタイム配信
- PDUなし

● 8月度 ディスカバリー セミナー

- 日時：8月29日(土)10:00～12:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU

● プログラムマネジメント実践ワークショップ

- 日時：10月2日(金)9:30～18:00
- 形式：リモート開催
- 7PDU

■ PMI日本支部関連イベント

● PMI 日本フォーラム 2026

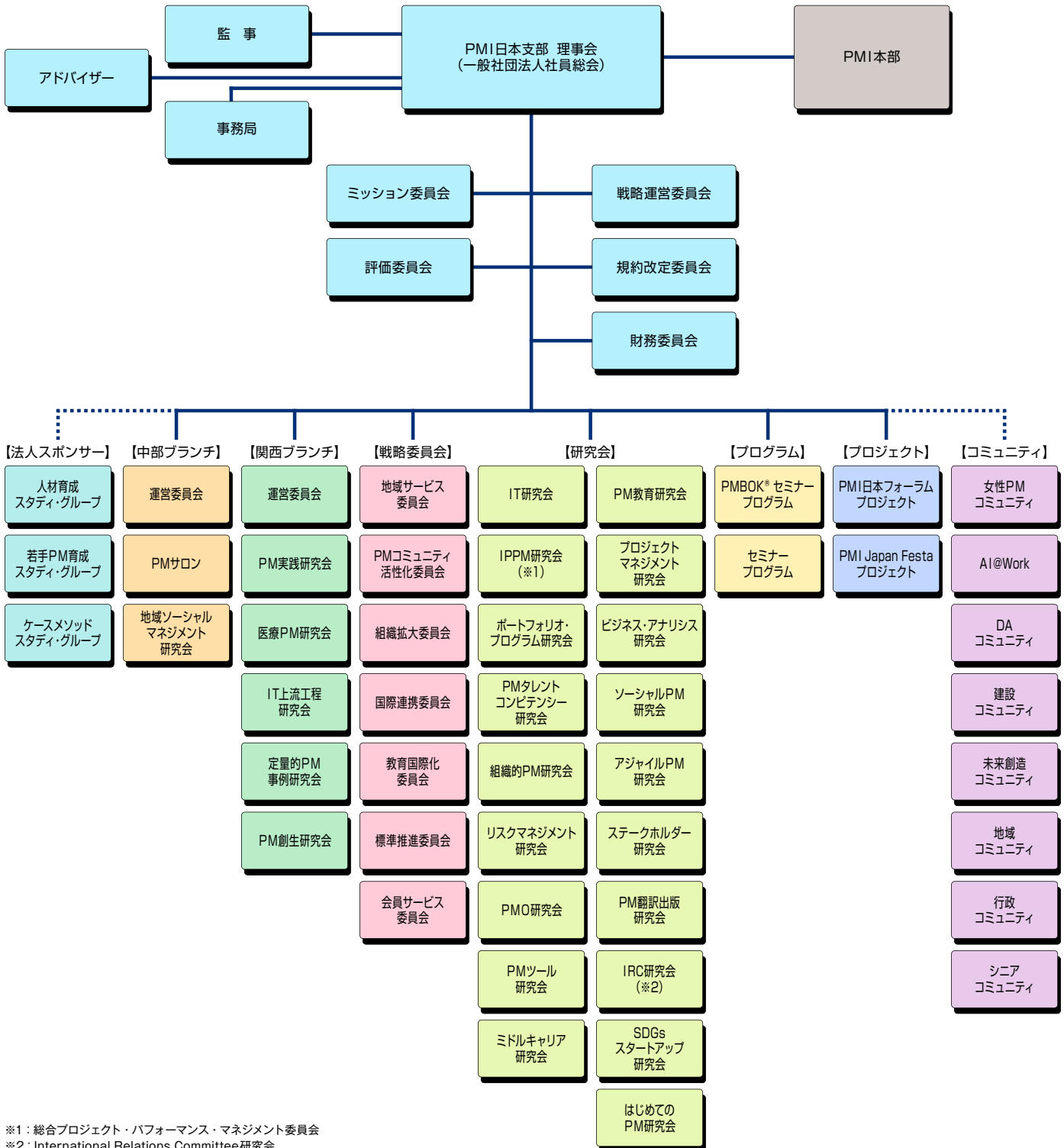
- 会場開催 : 7月11日(土)
- リアルタイム配信 : 7月11日(土)～12日(日)
- オンデマンド配信 : 8月末まで

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2026年6月現在)



※1: 総合プロジェクト・パフォーマンス・マネジメント委員会
 ※2: International Relations Committee研究会

Fact Database/データベース

■ 理事一覧 (2026年6月末日現在)

会長	浦田 有佳里	国立開発研究法人 情報通信研究機構
副会長	中村 亜子	株式会社パーソル総合研究所
副会長	端山 毅	株式会社NTTデータグループ
副会長	小川原 陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社
副会長	当麻 哲哉	慶應義塾大学

(以下、五十音順)

理事	麻生 重樹	日本電気株式会社
理事	石井 真	キンドリルジャパン株式会社
理事	稲葉 涼太	TIS株式会社/一般社団法人IIBA日本支部 理事
理事	奥田 智洋	株式会社アイ・ティ・イノベーション
理事	金子 啓一郎	プロジェクト・ピープル・パフォーマンス研究所
理事	アンリ 近藤	東京エレクトロン株式会社/ビズフォリオ合同会社
理事	斉藤 学	スカイライトコンサルティング株式会社
理事	坂上 慶子	株式会社 日立アカデミー
理事	杉原 秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	谷 徹也	損害保険ジャパン株式会社
理事	谷口 和行	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	羽佐間 一潮	特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)
理事	藤井 新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理事	藤原 慎	株式会社NTTデータ先端技術
理事	松本 弘明	株式会社ローソン銀行
理事	森田 公至	株式会社クオンツ・コンサルティング
理事	除村 健俊	サイバー大学
理事	渡辺 恵士朗	株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー

■ 最新の会員・資格者情報 (2026年5月31日現在)

会員数 (人)	
PMI本部	日本支部
806,335	8,031

PMP® 資格保有者数 (人)	
世界全体	日本在住
1,703,988	56,981

なお、日本や各国のPMI認定資格者数はPMI本部Webサイトの Certification Registry でご覧いただけます。

<https://www.pmi.org/certifications/certification-resources/registry>

■ 行政スポンサー (2026年6月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市
- 広島県 福山市
- 広島県総務局 県庁情報システム担当

■ 法人スポンサー 一覧 (112社、順不同、2026年6月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- キヤノン ITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータグループ
- プラネット株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード合同会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- BIPROGY株式会社
- JBCC株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- 三菱電機ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- 株式会社NTTデータ アイ
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS&A株式会社
- ロジスティードソリューションズ株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS&ADシステムズ株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社インテージテクノスフィア
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルート
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社

Fact Database / データベース

- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- 明治安田システム・テクノロジー株式会社
- TOPPAN株式会社
- ペルノックス株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- 株式会社ヒューマンテクノシステム
- 株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
- 富士電機株式会社
- KDDI株式会社
- フラッグス株式会社
- 株式会社JQ
- 株式会社PE-BANK
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- アイエックス・ナレッジ株式会社
- キンドリルジャパン・テクノロジーサービス株式会社
- ネットワンシステムズ株式会社
- PMアソシエイツ株式会社
- Asana Japan株式会社
- プラニスウェア・ジャパン株式会社
- 株式会社ピーエスシー
- DXCテクノロジージャパン株式会社
- 株式会社SCC
- テクノシステム株式会社
- 株式会社MSOL Digital
- 株式会社エイジレス
- 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
- INTLOOP Project Management株式会社
- 東京海上日動システムズ株式会社
- ディップ株式会社
- 日本アタウェイ株式会社
- 株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (55教育機関、順不同、2026年6月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院 芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学 経済科学部
- 北海道大学大学院 情報科学研究科
- 山口大学大学院 技術経営研究科
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 大学院情報科学研究科
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学 産学・地域共創センター
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究センター
- 北海道情報大学
- 山口大学 工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科 および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 飯島研究室
- 就実大学 経営学部 経営学科
- 神戸女子大学 家政学部家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 敷田研究室
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院 イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター
- 岡山大学 教育研究プログラム戦略本部 戦略的プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室

Fact Database/データベース

- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 サービスシステムデザイン研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部情報文化学科
- 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部
- 福岡工業大学 情報工学部システムマネジメント学科
- 学校法人 角川ドワンゴ学園 経験学習部
- 第一工科大学 東京上野キャンパス
- 公立大学法人大阪 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
- 東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 森本研究室
- 名古屋工業大学 社会工学科 経営システム分野 瀧口研究室
- 日本経済大学 大学院経営学研究科
- 大正大学